

2016年4月新設

人、地域、世界の架け橋となる、 「地球市民」をめざして。

愛知淑徳大学は理念「違いと共に生きる」のもと、学生の多様な意欲に応え、「一人ひとりの力を信じて伸ばす教育を大切にしています。その意志を受け継ぎ、2016年4月、グローバル・コミュニケーション学部が新設されました。めざすは、人、地域、世界の架け橋となる「地球市民」の育成です。「ALL ENGLISH」で行う専門教育科目によって、高度な英語コミュニケーション能力を磨くことはもちろん、

諸外国と日本の文化や社会、伝統などを理解し、幅広い教養を培います。必修の海外留学では、学生自身が興味や課題に合わせて行先・研修先を選び、英語力の力を主体的に鍛えることができます。変化し続ける国際社会で必要な「豊かな言葉の力」「アカデミックな知識」「柔軟な思考力」「タフな心」を身につけ、広い世界で自分の道を拓いてほしいと願っています。



interview

学部長 五島幸一

ACADEMICS

世界と日本の文化を知る!

国内・国外の文化や習慣を理解し、世界の人々とコミュニケーションを図るために必要な知識を身につけます。

SKILLS

英語運用能力を養う!

グローバル社会であらゆる状況に対応するために必要な英語運用能力、英語コミュニケーション能力、課題発見・解決能力を鍛えます。

VALUES

全員が海外留学!

海外留学や海外インターンシップを通して異文化に直に触れ、英語で考え、行動するチカラを体験的に学びます。

TOPICS

グローバル・ラウンジ 2016年4月、星が丘キャンパスにOPEN!



学部を問わず全学生に開放!
使用言語は「英語のみ」の交流スペース。
海外の大学に近い環境で、
グローバル感覚を磨きます。

星が丘キャンパス1号館・交流ラウンジWESTの隣に、国際交流の拠点となる「グローバル・ラウンジ」が開設。ネイティブ・スピーカー教員が常駐し、学修の相談だけでなく、世界や日本の文化、時事問題などに関する英会話を気軽に楽しむことができます。



グローバル・コミュニケーション学部

ALL
ENGLISH

全員
英語
クラス

長久手キャンパス屋内温水プール

2016年4月完成



TOPICS

竣工式

3月24日、「愛知淑徳大学長久手キャンパス屋内温水プール竣工式」が執り行われ、学園関係者や工事を担当した建設会社の関係者、約80人が参列しました。小林素文理事長が挨拶の中で、「この屋内温水プールが“健康”をテーマにした教育や地域活動を推進し、学生はもちろん地域の皆さんからも愛される施設になればと願っています」と展望を語りました。



2016年4月、長久手キャンパスに新たな体育施設として、通年利用が可能な屋内温水プールがオープンしました。本学園の水泳の歴史をひもとくと、今日までに数多くの競泳オリンピアンを輩出し、現在も愛知淑徳中学校・高等学校は全国レベルで活躍する優秀な選手を多数輩出する強豪校であり、輝かしい歴史を誇っています。この屋内温水プールは、太陽熱からの自然エネルギーを利用するエコプールであり、学生や地域住民の災害拠点としての機能も持ち合わせています。スポーツ科学や健康科学の教育拠点としてはもちろん、課外活動を通じた学生生活の充実化、健康増進を図る地域活性化など、教育と交流の拠点としての活用が期待されます。この新たな施設を活用してさらに学びが発展し、社会に貢献できる優秀な人材が数多く育成されることでしょう。

さまざまな機能を備えた水泳施設で、スポーツ関連の教育・研究や地域貢献をさらに充実させます。

自然光が降り注ぐ明るく開放的な屋内温水プールは、25メートルコースが7レーンある本格的な水泳施設です。1年を通して快適な環境のもと、水泳の練習やさまざまなレクリエーションができます。保健体育教員や小学校教員、スポーツインストラクターなどをめざす学生にとって、指導力を磨く場となり、地域住民の皆さんにとって、スポーツを通した健康増進、疾病予防の場となるでしょう。



プール水中窓



見学フロア



救護室



施設内温度湿度計とモニター